

# 美しい国・日本 世界の平和



—小学6年生の感想文から—

令和8年3月

公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

## 「美しい国・日本、世界の平和」の発刊にあたり

令和6年と7年、都内の2つの小学校の6年生たちが社会科見学で千鳥ヶ淵戦没者墓苑を訪れた。苑内を案内・説明し、最後に墓前で全員が献花した。

その数週間後、児童全員の感想文が小学校から墓苑に送られてきた。その感想文に共通してみられるのは、「戦没者墓苑の存在を初めて知った」「たくさんの方が亡くなった」「今の平和はあたりまえではない」「戦没者へ感謝する」「早く遺骨に帰還してほしい」という内容であった。

そうか、東京都の児童に限らず、日本中のほとんどの児童・生徒たちは、先の大戦での戦没者やその遺骨を奉安している千鳥ヶ淵戦没者墓苑の存在について教科書や授業では何も知らされていないのだということを再認識させられた。

そこで当奉仕会としては、首都圏の学校には、遠足、校外学習や社会科見学の際にぜひ立ち寄りたい場所として、また首都圏以遠の学校には、修学旅行や東京見物の際にぜひ訪れたい場所として、“知名度向上”に努めてまいることになりました。

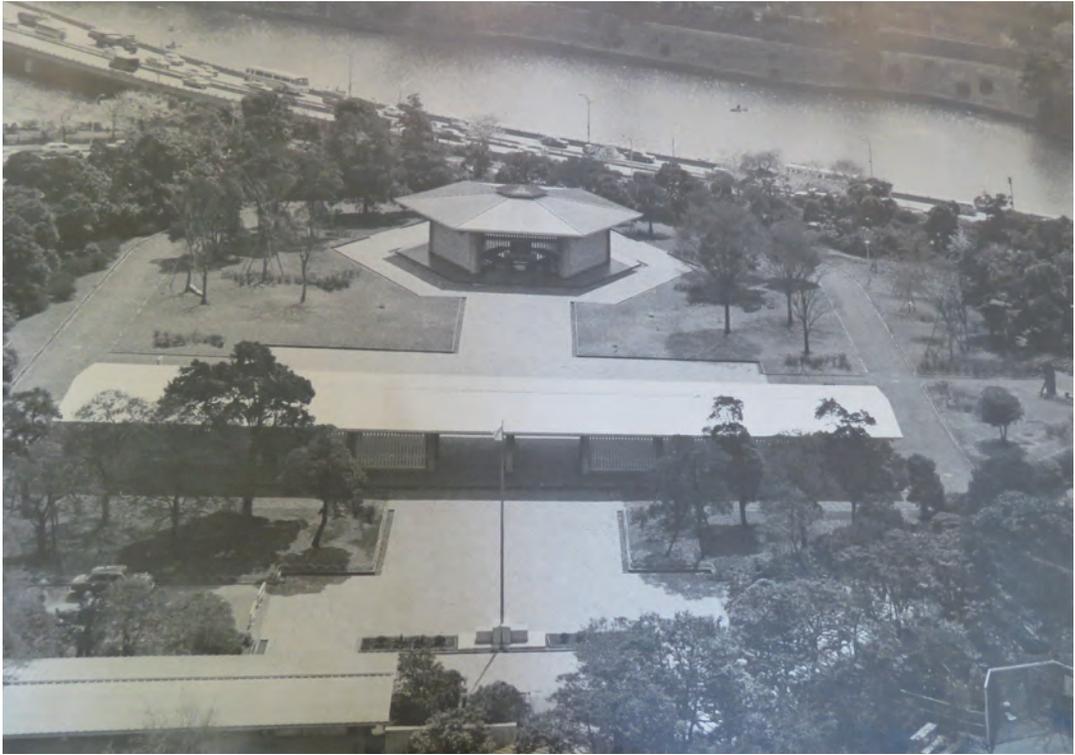
終戦80年にあたって、今後の参考になるべく、墓苑の見学を通して児童たちが何をどのように感じたのか、彼らの感想文を、了解を得た上、そのまま写真に撮りまたは文字起こしし小冊子にまとめました。

この小冊子を是非手に取っていただき、戦没者への想いと平和への感謝を感じていただければ幸いです。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

理事長 保松 秀次郎

編集責任者 常務理事 中村 勤



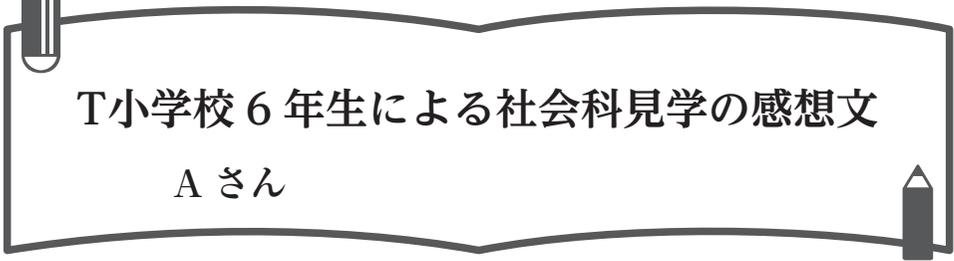
創建当時の墓苑全景



現在の墓苑全景

## 目 次

- 「美しい国・日本、世界の平和」の発刊にあたり
- 創建当時の墓苑全景・現在の墓苑全景
- ★ T小学校6年生による社会科見学の感想文（11名）…………… 1
- ★ Y小学校6年生による社会科見学の感想文（40名）短冊貼り付け…………… 13
  
- 付録
  - ・ 墓苑の風物詩 …………… 23
  - ・ 内外の高官による参拝 …………… 38
  - ・ 紫蘭と花言葉 …………… 40
  - ・ 地域別戦没者遺骨収容概見図（厚生労働省提供）…………… 41
  - ・ 5000坪の樹叢（環境省提供）…………… 42
  
- おわりに



## T小学校 6 年生による社会科見学后感想文

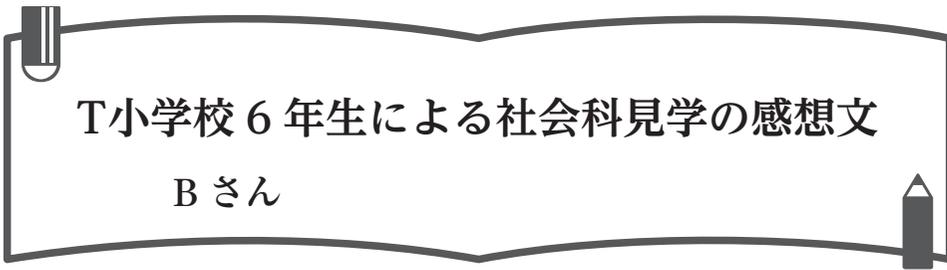
A さん

先日は見学させていただきありがとうございました。太平洋戦争で 310 万人もの人が亡くなってしまったことを知りました。310 万人をこの世から消してしまう戦争を二度と起こしてはいけないと思いました。

平和な世を夢見て、いつか家族の元に帰ろうと戦った戦没者の方々のことを思うと胸が痛いです。戦没者の方々のことを忘れずに、今を生きていきます。戦争のことを後世に話し、受けついできた大人の人たちを見習い、大きくなったら自分も話していきたいです。

戦争の大変さを伝えていく施設として千鳥ヶ淵戦没者墓苑はとても大事だと思います。身元のわからない方のお骨を保存してくださり、ありがとうございます。ここで学んだことは、戦争のない世の中を生きてきた自分に戦争のことを忘れてはならないと思わせてくれました。今も海外で戦争がおきているので、大人になったら世界平和を実現させたいです。

最後に「なぜ人々は争うのか」ということについて、ぼくなり結論をかきます。戦う人々も、戦う国も、自分たちを守るために戦っています。太平洋戦争は、国民を世界恐慌から守るためでした。どちらの国も、自分たちが「正義」だと主張します。そして、お互いの「正義」がぶつかった時、戦争がおきます。でも、戦争に「正義」などありません。戦争は「悪」です。そんなことを考えさせてくださり、ありがとうございました。



## T小学校 6 年生による社会科見学后感想文

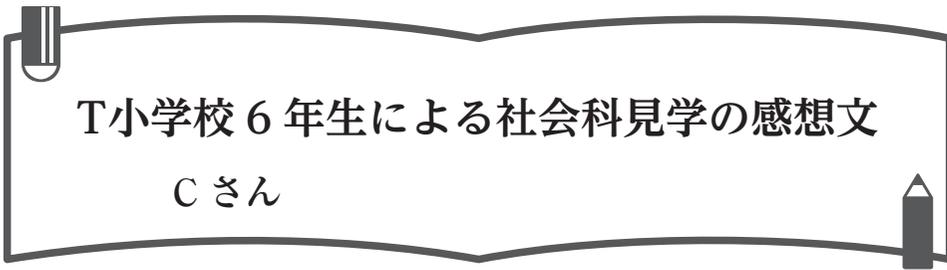
B さん

先週はありがとうございました。私は千鳥ヶ淵戦没者墓苑に行って戦争はこわいことなのだとすることをあらためて思い知りました。

戦争で亡くなった人の中にはまだ家族のもとへ帰れていないという話を聞いて胸が苦しくなりました。私が思っている何倍もつらく悲しい思いをしていたことがよく分かりました。

献花をおそなえするというとてもきょうな体験で、「あなたたちのおかげで私は幸せな日々を送れています。安らかにお眠りください」という感謝の気持ちがとどけられてうれしいです。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑に咲く紫蘭の花言葉は「あなたをわすれない」でした。本当にその通りだと思いました。今の私たちにできることは、その花言葉のように戦争があったこと、戦争で亡くなった人がいるということをわすれずに後世へ残すことだと考えました。



## T小学校 6 年生による社会科見学の感想文

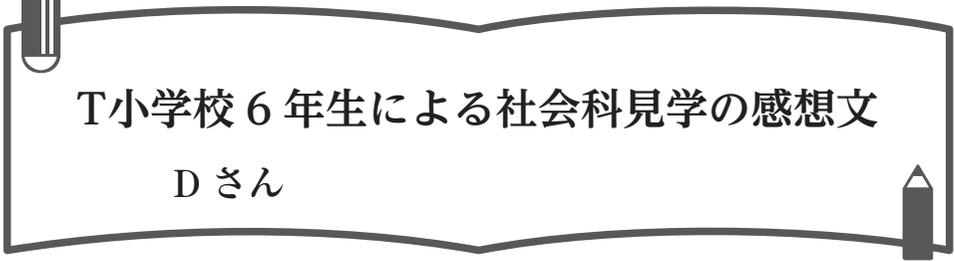
C さん

先日は千鳥ヶ淵戦没者墓苑で貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

私は見学して、戦争で亡くなった人の多さ、戦争の悲さんさを実感することができました。戦争で亡くなった人が、何万、何十万といることを知り、とてもおどろきました。

その中でも、海にしずんでしまい見つけれない方や、名前が分からず遺族の方の元にもどれない方がいると聞き、悲しくなりました。一人でも多くの遺骨が遺族の方の元にもどれることを願っています。

私は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で学んだことを忘れません。これからはもう二度と戦争が起こらないように、戦争について学び、そのことを次の世代に伝えていきたいです。



## T小学校 6 年生による社会科見学后感想文

D さん

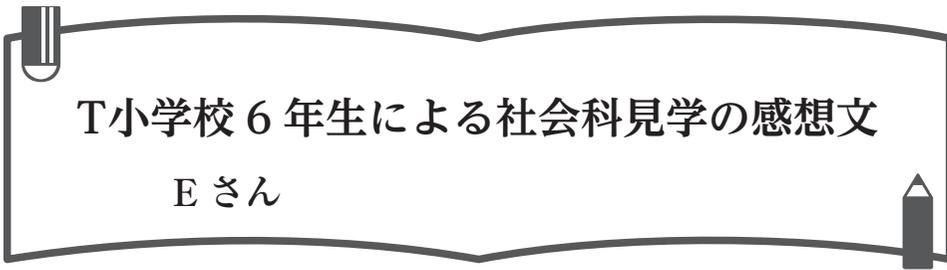
私は千鳥ヶ淵戦没者墓苑に行くととても悲しい気持ちになりました。でも、戦争でなくなってしまった人に、「今まで戦ってくれてありがとうございます」という感謝の気持ちにもなりました。

また、紫蘭の花言葉「あなたを忘れない」という言葉が強く心の中にさりました。戦争でなくなってしまった人を絶対に忘れないとそう心にちかいました。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑に来て「今の平和はあたり前ではない」と深く考えさせられました。献花もさせていただきました。「今まで一生けん命戦ってくれてありがとうございました」と強く気持ちをこめました。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑で学んだことをこれからもたくさんの人に教えて、今が平和であることの嬉しさを心の中に残るよう教えてあげたいと思いました。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑のみなさま、たくさんの学びを得させてくれてありがとうございました。



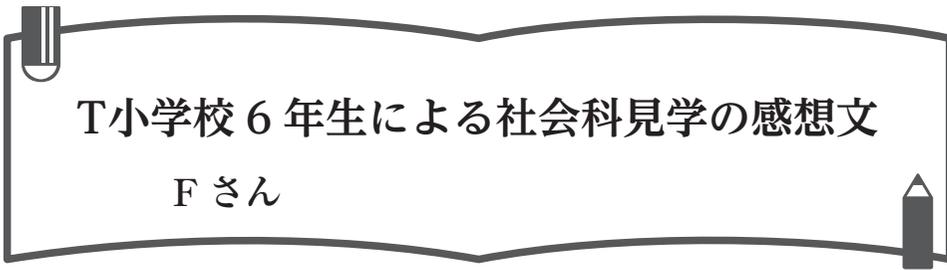
## T小学校 6 年生による社会科見学后感想文

E さん

私が千鳥ヶ淵戦没者墓苑に行って、私たちが未来へつなげることの責任感がうまれました。最初は、内閣総理大臣や天皇と血がつながっている方が訪れていたからここはすごい場所なのかなと思っていたけど、最後には命をかけて戦ってくれた人への感謝と、今、私たちが幸せに生きられるありがたさでいっぱいになりました。

またあらためて思うと、こんなにもたくさんの方が命をかけて戦ってくれたということはすごいことだなと思いました。だからこそ未来にこの事をつなげる大切さ、責任感がとても分かりました。

他にも何も悪い事をしていないのに空しゅうとかで亡くなってしまうことがおこるということはとても悲しい気持ちになりました。こんなに貴重な体験をさせていただいて本当に感謝の気持ちしかありません。これからはここで体験したこと、気持ちをしっかりと未来につたえていきます。



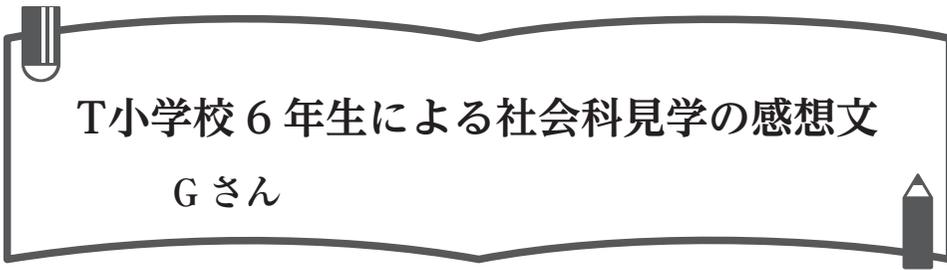
## T小学校 6 年生による社会科見学の感想文

F さん

私は戦争はなにがあっても絶対にやってはいけないことだと思います。なぜなら、たった一つしかない命が戦争でなくなってしまうことはとても悲しいことだからです。

私は千鳥ヶ淵戦没者墓苑に行って、戦争のつらさや大変さなどについて学びました。戦争でなくなった人に感謝とそんけいの気持ちをもって献花することができました。関係者の方々、先日はありがとうございました。

これからは献花したときと同じように戦争でなくなった人に感謝とそんけいの気持ちをもって生活していきたいです。そして、今回学んだことをこれからの学習に活かしていきたいです。



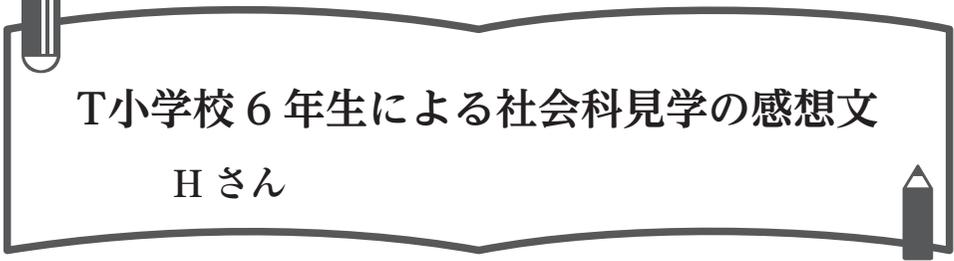
## T小学校 6 年生による社会科見学の感想文

G さん

私は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に行ったことでたくさんの兵士のぎせいを知りました。遺族の悲しみや苦しみは遺族にしか分からないけど、そのぎせいのおかげである平和に感謝する気持ちやもう二度と戦争はおきてほしくないという気持ちは感じました。

最近、アメリカがイラクにこうげきをはじめたことを知りました。私は戦争は起きてほしくないけど、どこかが平和ならどこかが戦争が起きている、だれかが幸せならだれかが不幸になっているそんな世界に今なってしまうのではないかと思いました。そして今の私の幸せもだれかの苦勞によってなりたっているのかもしれないとも思いました。

ならば私は、ぎせいになった人たちの苦勞や苦しみに報いることができるように、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で感じたことや考えたこと、学んだことなどを忘れずに生きていこうと思いました。千鳥ヶ淵戦没者墓苑を見学させていただきありがとうございました。



## T小学校 6 年生による社会科見学の感想文

H さん

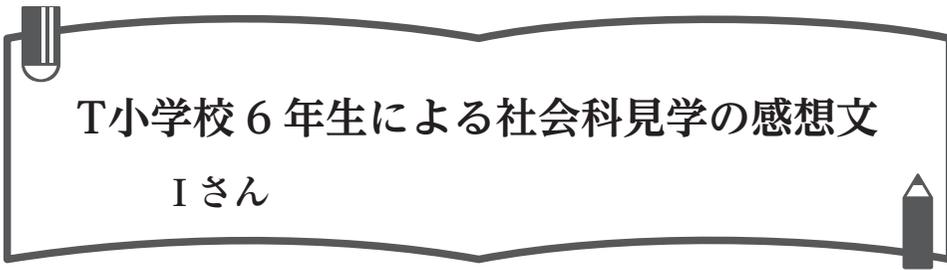
私は戦争のために戦ってくれて、それでも残念ながら海外で亡くなられた方々に感謝するとともに、追悼の意を示したいと思います。なぜなら、彼らがいって今の平和な日本があり、私たちが日々楽しく生活することができている理由だからです。そして、私は多くの人が亡くなってしまったこの悲惨な戦争という出来事を後世にも伝えたいと思います。

戦争を経験した人が少なくなっていく中で、80年間語り継がれてきたこの残酷さを、後世に忘れさせるわけにはいきません。そこで私は奉仕会のみなさんに教えてもらったことを活かし、戦争がもう二度とくりかえされないように取り組んでいきたいと思います。

今でも世界の様々な地域で戦争が行われています。多くの人が苦しみながら、毎日必死で生きようとしているのだと思います。私もがんばってくださっている人を応援し感謝するとともに、戦争は絶対に、絶対にしてはいけないのだということをうったえ続けたいと思います。

今回、見学と献花をさせていただくということは、奉仕会のみなさんが私たちのことを未来の希望として期待してくださっているということだと思います。本当にありがとうございます。私たちは戦争を経験していません。人々の苦しみ、別れの切なさ、戦争のむなしさを体感したことがありません。しかし、それでも奉仕会のみなさんのお話を聞いたり、当時の残された資料を読み解いたりして、未来に伝えていきたいと思います。

改めて、今回は見学させていただき本当にありがとうございました。そして、私はいつか世界が平和になることを心から願っています。



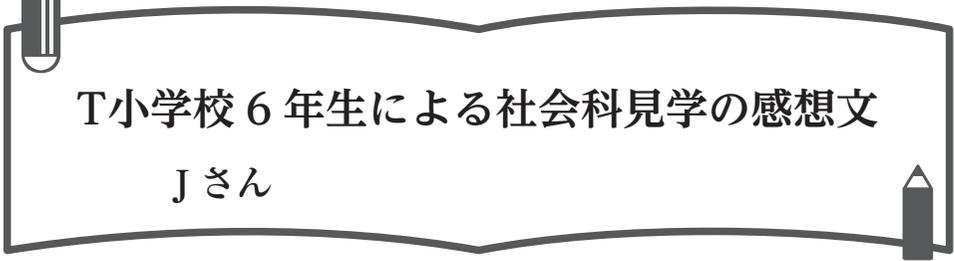
## T小学校 6 年生による社会科見学の感想文

I さん

### 「戦争から学ぶこと」

私は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で戦争の恐ろしさと戦争により亡くなってしまった人の多さを知りました。今まで「戦争」というものは、とても遠い昔の出来事で私たちには関係のないものだと思っていたけど、実際に亡くなった方の話や、今も回収できていない遺骨があるという話を聞いて、平和な時代に生まれたからこそ今までの戦争の悲劇を二度と繰り返さないよう国同士の関わり方を慎重に見直し、声をあげる必要があるのだと考え直すことができました。

これからは、亡くなった方、その遺族の方、戦争の思いを引き継ぐ方、全ての意思を私たち若い世代が後世に繋いでいけるよう最大限の努力をしていかなければいけないのだという自覚を持って、これからの人生を歩んでいきたいです。そして、案内していただいた保松さんのように、次の世代に伝える役になりたいです。



## T小学校 6 年生による社会科見学の感想文

Jさん

### 「平和への感謝」

私は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に行くまで「戦争」という言葉があまりしっくりきませんでした。「戦争があったことは知っているけど、昔にあったことだから・・・」と思っていました。

でも奉仕会のみなさんに教えてもらい、千鳥ヶ淵戦没者墓苑では、外国で亡くなった方々のいこつがまいそうされていること、まだ日本に帰れず外国で眠っているほねがあること、海にしずんでしまい日本に帰れないことを知りました。

亡くなった方々は国のため戦い亡くなった。死ぬのはいやでも戦って亡くなった。そのことがむねにつきさりました。それと同時に感謝の気持ちでいっぱいでした。その人たちが戦ったから今の日本は平和で、私たちが今日も楽しく一日を過ごせている。そして、その人たちにはなかった「明日」をあたり前のように待つことができる。そのことがとても大切なことだと分かりました。

また、けん花をさせていただいた時に、亡くなった方々に「国のため戦っていただき、ありがとうございます。あなたたちが戦ってくれたおかげで今、日本はとても平和です。私たちが今日を安心して生きていられるのも、あなたたちのおかげです。本当にありがとうございます」と伝えられたので良かったです。

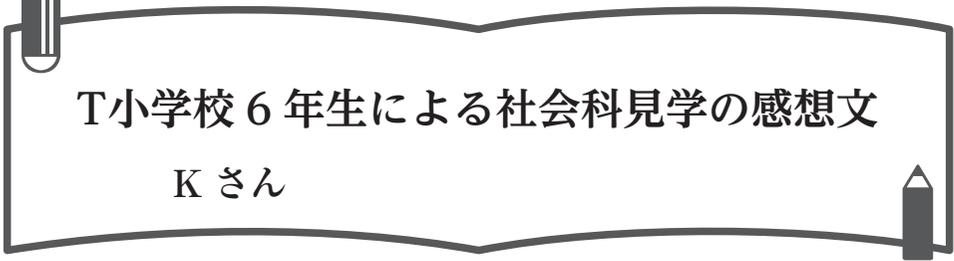
千鳥ヶ淵戦没者墓苑に行かせていただいたおかげで戦争の恐ろしさ、平和の大切さを深く学ぶことができました。今ある「ふつう」は戦争で亡くなった方々が守ってくれていると感じました。

私たちが生きていることは「奇跡」で、世界ではロシアとウクライナ、イランとイスラエルなどの国々が戦争をしています。私たちが生きていられるのは亡くなった方々がいたからなのだと分かりました。私たちはこれから「今」に感謝し、「あたりまえ」が「あたりまえではない」ことを常に頭に入れておこうと思います。亡くなった方々への感謝の気持ち、たくさんの方々が私たちに命をつないでくれたことへの感謝を大事にしていくことをこの場でちかいます。

私はこれから生まれる未来の子どもたちに戦争の恐ろしさ、もう二度と戦争をしてはいけないこと、亡くなった方々をまいそうするために努力している人たちがいることを伝えていきたいと思います。もう二度と悲劇をくり返さないために自分たちができることをしていこうと思います。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑に眠るすべての方々、まだ外国に眠るすべての方々、安らかにお眠りください。少しでも早く遺族が見つかりますように。

最後に千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会のみなさん、いそがしい中私たちのために時間をつくってくださり本当にありがとうございました。



## T小学校 6 年生による社会科見学の感想文

K さん

### 「犠牲」

千鳥ヶ淵戦没者墓苑では三十七万柱ものお骨が納骨されているそうです。今でも外国から帰ってきていないお骨があったり、名前が分からないお骨があるそうです。

私は戦争の大変さは分からないけれどとてもせつなく悲しい気持ちになりました。

「戦争に行くから」と家族とはなればなれになったり、爆弾が落とされて周りの人が亡くなったり、下手したら街がなくなるかもしれない状況のなかで生きのびるのはとても大変だと思いました。大切なものを失っても立ち上がるという「生きたい」という気持ちがあってこそ乗り越えられると私は思いました。

そして、今の私たちがあるのは今までの自分の命を犠牲にし、日本のために尽くしてきた人たちのおかげだと改めて思いました。

私のおばあちゃんは兄弟が六人いて、お父さんは戦争に行き、お母さんが一人ですべて支えている状況でした。その中でご飯も食べられるか危うい状況で生きるのはとても大変だったと言っていました。しかしそんな中、お父さんは戦争から帰ってきました。それは本当に「奇跡」でした。帰ってきたときは顔もパンパンで誰かも分からないくらいケガをしていたと言います。

私はこの三十七万ものお骨があり、今も外国では戦争がある中で私たちは暮らしています。いつ私たちがまきこまれるか分からないというきょうふが今も心のどこかでねむっています。

私は戦争を知らないけれど、戦争の痛みや悲しさ、戦争で犠牲になった人々の思いを次へとつないでいけたらなと思います。



Y小学校 6年生による社会科見学后感想文 (短冊分)

千鳥ヶ淵戦没者墓苑の方へ  
貴重な体験をさせて  
さし、ありがとうございます。  
私は、戦没者墓苑に行つて、  
多くの人のために戦つて  
くれた人達を、忘れずに、  
いつでも多くのの人に知ってもらい  
思いました。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑へ  
今日は、ありがとうございます。  
然、祈る時、私は  
胸が苦しくなりました。  
これからも、感謝を  
忘れず生きていきたいと思います。本当に  
ありがとうございます。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑の方へ  
千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
のみならず、ありがとうございます。  
は、日本人  
じゃないけど、千鳥ヶ淵戦  
没者墓苑は、戦争は残こたな思  
いました。

千鳥ヶ淵 戦没者墓苑  
の方へ  
私は、昔の戦争で亡  
くなった方の遺族が見か  
らなほど、場合でここに  
あるとき、おどろきました。  
昔の人が、労苦した思いを  
後世代に伝えていきた。



Y小学校6年生による社会科見学の感想文（短冊分）

戦没者墓苑の方へ  
社会科見学ではお世話  
になりましたありがとうございます。  
ございます。そこでは、事実  
を知ることが大事。また、そ  
のような事実(単峰)があったこと  
も教えてくれてありがとうございました。

「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」  
の方へ  
自分は戦争で死  
んでしまった人ほど  
ここに行くか疑問に  
思っていたのですが  
「戦没者墓苑」来て  
さげにわかりました。  
心からありがとうございました。

千鳥ヶ淵 戦没者墓苑の方へ  
この度は、ありがとうございます。  
戦争で、こんな  
にも多くの方が亡くなり  
未だに親族の方が  
見かたていない方がい  
るということが知れま  
した。

国立千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑  
木曜日に見学しても  
らい、昔の身元がわから  
ない人はし、カリとこにい  
う場所に治められて  
いることが写りました。  
そなえてる花も意味があるだ  
なと思いました。



Y小学校 6年生による社会科見学后感想文 (短冊分)

国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
の方へ。  
私はあそへ行ってすく  
悲しかったです。  
教科書で見ると実際に  
見るとではとちがいました。  
大人になってもいろいろな  
事が分かるようになったら是非  
行きたいです。

国立千鳥ヶ淵戦没  
者墓苑様  
私は千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
に行って戦争は絶対わかって  
はいけないことを改めて  
思いました。千鳥ヶ淵戦  
没墓苑には、たくさんのお話を  
学びました。

このお土産はありがた  
ございました。また夏休  
みにいきたいです。ここ  
は戦争というのほど  
ういものなのかなと  
より深く学びたいと思  
います。

国立千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑のみなさま  
たいせつな思い出を  
ありがとうございました。  
そして花を一人一人が  
大切にしていると  
思いました。  
またいきたいです。



Y小学校6年生による社会科見学后感想文（短冊分）

千鳥ヶ淵戦没者  
墓苑へ行くことで、  
自分が生きている  
ことには命をかけた  
戦死した人がいるからと  
分かりました。このような  
機会をくださり、感謝し  
います。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑様  
私達は戦没者墓苑に行き  
戦争に行かずに済んだ家族に会え  
ず死んだ人を知ることが出来ず  
切ない戦が起きていると  
思ふことが出来た。とても  
貴重な機会をありがとうございました。

国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑の方へ  
私達にこの戦没者墓苑の説明  
をしていただき、ありがとうございました。  
考えが深まりました。正しい  
情報を知れました。私は家で  
調べて色々な知識を得ることが  
出来ました。本当にありがとうございました。

このあいだはありがとうございました。  
戦中に亡くなった方々の  
骨がまだ残っていると考えると胸が  
苦しくなります。とても勉強  
になりました。



Y小学校6年生による社会科見学后感想文(短冊分)

千鳥ヶ淵戦  
没者墓苑の  
方へ  
私は、戦争をし  
て日本のために  
死なれた人々に  
あらためて感謝はし、  
ありがとうごさいます。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑様へ  
たくさんの私達の  
名前が分からない  
ご先祖様に参拝  
することができ、良か  
たです。見学参拝  
させていただきあ  
りがとうございました。

こないだはありが  
とうございました。  
戦争のこととい  
うことで、とくにな  
る人、今まで戦からさ  
る人、感謝をたてた  
いと思いました。

今回は国立千鳥ヶ淵戦  
没者墓苑を見学させて  
いただきありがとうございました。とても勉強になりました。とくにな  
る人、今まで戦からさ  
る人、感謝をたてた  
いと思いました。





Y小学校 6年生による社会科見学后感想文 (短冊分)

千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
のボランティアの人たちへ  
ぼくたちにあのような  
ことを見させてくれて  
ありがとうございました。戦  
没者の方たちの思い  
は大切にします

国立千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑 様へ  
戦争を経験した昭和  
天皇の想いと戦争  
を経験していない平成  
天皇の想いが少し違う  
ことを初めて知りました。  
戦争があって今の私達が在  
ることを常々思っています。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
きょうのお墓めぐりが  
とても良かったです。  
戦争で戦争が  
たくさんあった人たちのお  
かげで今の日本が  
あるんだと初めて  
思いました。

戦没者墓苑のめぐり  
先日は、きょうな機会  
をいただきありがと  
うございました。  
戦争のことを知れた  
し、戦没者に参拝で  
きてよかったです。



Y小学校 6年生による社会科見学后感想文 (短冊分)

千鳥ヶ淵 戦没者墓苑の  
皆様へ  
今回、このような場所を  
学ばせていただきありがとうございます。  
ごさいました。戦争のむさ、  
つらさが身に染みて分か  
りました。本当にありがとうございます。  
ごさいました。

私は国立千鳥ヶ淵戦没  
者墓苑で、戦争で  
なくなれた方は、  
今の私達のことを  
考えていたことを、  
今回の社会科見学  
で学びました。ありがとう  
ございました。

ぼくは、国立千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑を見学  
させてもらい、戦争で  
亡くなってしまった人の  
おかげで、今の日本  
があるのだと思います。  
また亡くなってしまったのは  
遺骨の数は足りていないから  
ぼくたちも戦争を止めよう  
と

私は戦争で日本の  
ために命をかけて戦  
っていた人がいたことを  
知り、とても感謝して  
います。戦争はもう  
起きないように  
思いました。



Y小学校 6年生による社会科見学后感想文 (短冊分)

国立千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑の方へ  
私は今回の経馬会でいよいよ  
いかなことをまなべました。あり  
がとうございます。そして  
この経馬会をこれからの未来  
の子どもたちにもつたえて  
いきたいと思います。

「紫蘭」 「あなたを忘れない」

国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑の  
みな様へ  
私は戦没者墓苑に  
行って戦争は大変だった  
ということをおぼろげに  
感じました。お国のために  
戦ってくださった昔の力を  
忘れずにいたいです。

国立千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑のみなさんへ  
社会科見学の際は、  
ご丁寧な説明してい  
ただきありがとうございます。  
六角堂にいる私たちの今を  
つづけていくことを忘れず  
先日は本当にありがとうございました。

国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
の皆様へ  
戦争によって海外でセ  
くたれた人の約半分は  
日本に戻って来たいと知った  
時はおどろきでした。ですが何人  
もたまに休まっているこの  
墓苑を忘れたくないと思えました。  
ありがとうございました。



Y小学校 6年生による社会科見学后感想文 (短冊分)

国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
様へ

戦没者墓苑のところにい  
てみたことは戦争でい  
のがたふしてしまつたの  
を知りました。もう一つは  
の花まきにはあんなにわ  
れなさい言葉が書いて  
おいてあります。おかげ  
うございませう。

国立千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑の方へ

私達に戦争でうしな  
た命の大切や日本  
のためにたたかて  
くれなみなさんのことを  
教えてくださりありが  
うございます。感謝して  
います。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑さん  
先日は見学させていただきました。  
ありがとうございます。ごさいました。  
各国から骨をあつめたり  
していることを知りまし  
私達が今生きているのは  
その人達のおかげなのだ  
と実感しました。

国立千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑へ

今回の体験で、  
より戦争のおそろしさ  
命の傷さを知りました。  
献花などの貴重な  
体験をさせていただ  
きありがとうございます。  
ございました。

# 墓苑の風物詩



3月から4月：しだれ桜と上皇陛下御製碑



3月から4月：千鳥ヶ淵の桜と菜の花



3月：天茶供養の少年少女鼓笛隊（解脱会）



4月：春の奉仕茶会



4月：オペラ歌手・藤田槇葉さんによる国歌独唱



通年：千代田区海洋少年団のボート訓練



5月：海上自衛隊日本国練習艦隊一行の参拝



通年：帝国華道院研究部による生け花



5月：拝礼式での佳子内親王殿下（左はご案内する加藤厚生労働大臣（当時））



5月：拝礼式でご遺骨を奉持する福岡厚生労働大臣（当時）



6月：山王祭



7月：万燈会（阿含宗）



7月：大賀ハス



7月：墓苑上空に架かる虹



8月：百日紅と昭和天皇御製碑



8月：甲飛喇叭隊



終戦の日の墓前



終戦の日の参拝者



10月：秋季慰霊祭で秋篠宮皇嗣同妃両殿下をご案内する奉仕会・鈴木会長



10月：秋季慰霊祭での秋篠宮皇嗣同妃両殿下



10月：秋季慰霊祭での陸・海・空自衛隊部隊拝礼と黙とう



10月：秋季慰霊祭での昭和天皇御製奉誦と舞踊



11月：墓苑の黄葉



通年：厚生労働省主催の遺骨引渡式



12月：防衛大学校東京行進



1月：雪景色



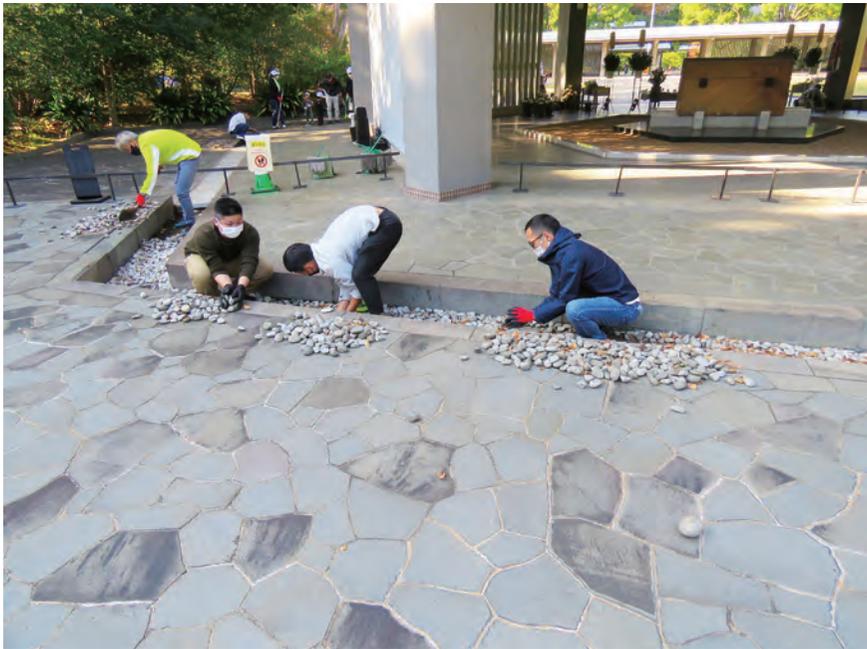
通年：喇叭保存会



通年：喇叭伝承会



2月：紅梅



通年：清掃ボランティア

## 内外の高官による参拝



令和6年：献花に向かう岸田総理大臣（終戦の日）



令和7年：献花に向かう石破総理大臣（拝礼式）



令和 7 年 8 月：献花に向かう日英両防衛大臣



令和 6 年 5 月：献花を終えた米インド太平洋軍司令官

## 紫蘭と花言葉



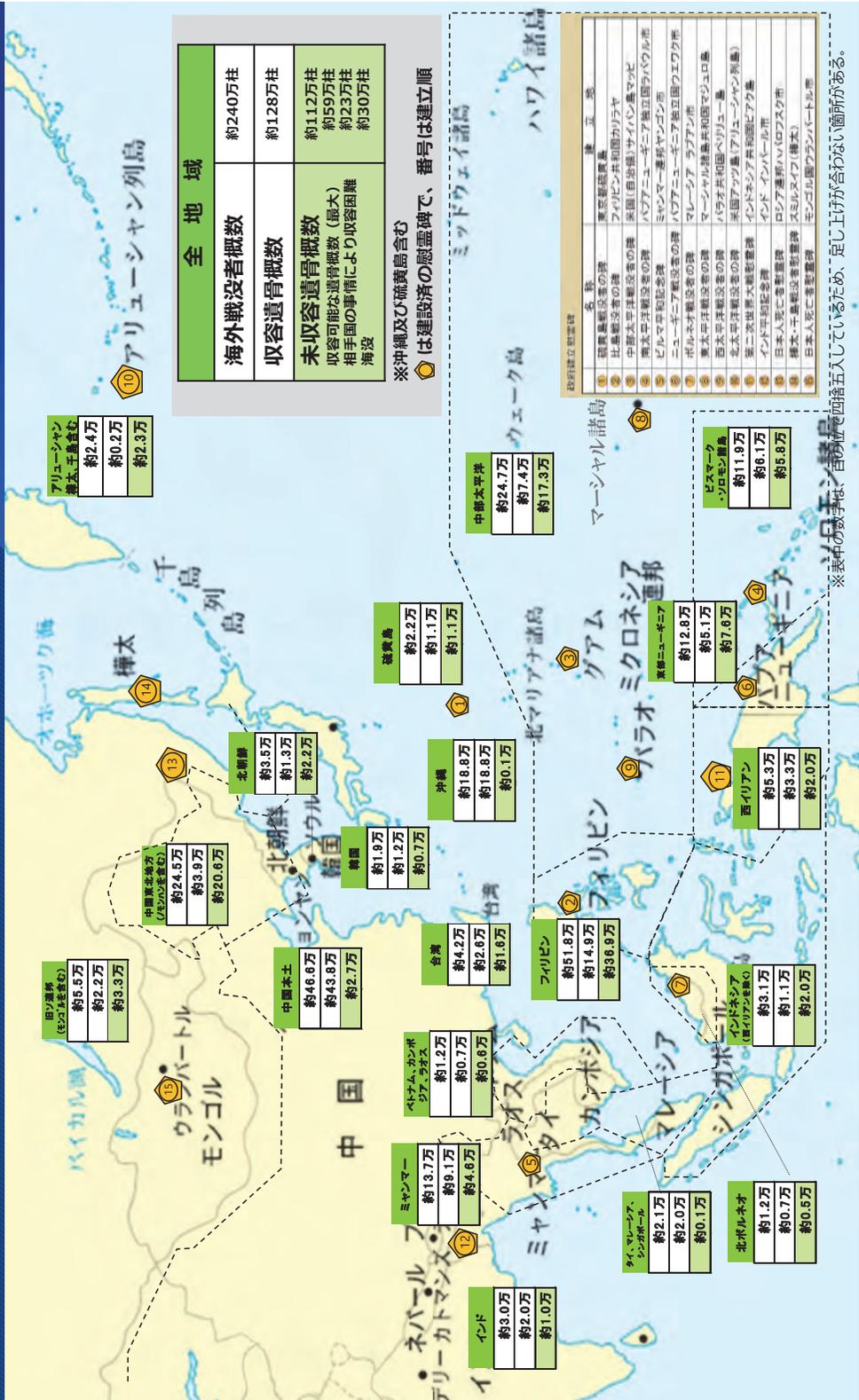
5月に開花し、墓前に向かってこうべをたれる

墓苑の花「紫蘭」

花言葉：「あなたを忘れない！」

○ 地域別戦没者遺骨収容概見図(令和7年11月末時点)(厚生労働省提供)

地域別戦没者遺骨収容概見図(令和7年11月末時点)



じゅそう  
5000坪の樹叢

こちらの QR コードからご覧いただけます



千鳥ヶ淵戦没者墓苑に育つ都心の森を紹介します

## おわりに

### 本小冊子の題名「美しい国・日本、世界の平和」について

先の大戦で国のために一命を賭して戦った英霊たちは、将来にわたり日本と日本人の心が美しい国であることを、そして日本を含む世界が平和であることを強く願っていたと思います。英霊が礎を築いた平和と繁栄の今を生きる私たちは、英霊の願いであった「美しい国・日本、世界の平和」に想いをいたし、若い世代に戦没者慰霊を継承すべきと考え、この題名としました。

---

公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

〒102 - 0075 東京都千代田区三番町2

電話：03 - 3261 - 6700

FAX：03 - 3261 - 6712

メールアドレス：c-houshikai@boen.or.jp



